2021年2月某日

差枚	-195枚	RANK	B

実戦機種

パチスロ モンスターハンター:ワールドTM、SLOTバジリスク～甲賀忍法帖～Ⅲ

実戦レポート

昨年12月からの絶好調ムードを完全に消し去るかのような、2月の体たらくっぷりに、もはや気分は完全なる通常営業。だが、これでいい。元々パチスロなんてものは、感情を込めて打っても良いことなんて一つも無いのだ。ただ事実だけを言うならば、本日のホールは過去2ヵ月連続でS級を獲得しているという、この上なく相性が良さげな戦場だ。前回ほとんど同じようなことを言いながら、とんでもない負けを喰らった男がいたような気もするが、そんなことは気にせず感情を捨てて戦いに赴くとしよう。そんな無感情で引いた入場抽選は、44人中「43番」というこの上なく酷い番号であったが、総人数からするとこの位置でも選択の余地は十分ある。大丈夫、大丈夫…。そう言い聞かせてのスタートとなった。

しかし、状況は意外にも本当に大丈夫で、全台系狙いにしろ末尾狙いにしろ、打ちたかった台はそこそこ空いているものが多かった。その中から、いつか一度触ってみたいと思っていた「パチスロ モンスターハンター:ワールドTM」を確保して実戦開始。完全なる初打ちなので、内部数値を穴が空くほど眺めながら実戦していくと、何とか早い周期での初当りをポンポンと引くことができ、アイルーボーナス後の作戦会議→ゾラ・マグダラオス誘導作戦も連続で成功するなど、どうも低設定ではないような気配が漂いつつある。さらに好材料としては、隣で打っているユーザーの台がオレの台よりもさらに高設定っぽい挙動で、弱チェリー＆スイカの合算確率は常に設定6以上をキープしつつ、初当りも連チャンも好調でメダルをモリモリと増やしていく。これは…2台とも高設定＝全台高設定シマの可能性あるか!?
道中、環境生物のマボロシモルフォを確認できたこともあり、高設定の期待を高めつつ打ち続けたのだが、それ以外に設定を限定できるような示唆は無し。いかんせん初打ちなので、慎重に判断しなければ…とかなり時間をかけたのだが、半日近く打って出た結論は「よくて中間設定」といったところ。うーん、今から移動先を探すのはかなり厳しいが、やるしかあるまい。

AT・ART機で好調そうだった台の末尾がいくつか共通していたので、それを頼りに選んだ2台目「バジリスクⅢ」は、運良く1000枚ほど出玉は出てくれたのだけど、設定的な手応えはナシ。そんなこんなで手をこまねいていると、パチスロ モンハンワールドを打っていたユーザーがヤメるというので、ありがたく頂戴することに。すると、打ち始めてすぐ環境生物のフワフワクイナが出現し、設定2・5・6が確定！　それまでの挙動からすると、設定5・6濃厚か？　…と思ったのだけれど、なぜかオレに変わってからハマリを連発し、弱チェリーもスイカも全く出現しなくなったので、首を捻りながら手放したのだが…やっぱり高設定だったってさ！　なぜオレだけ…。